

2018年3月期 第2四半期決算説明会

2017年11月9日（木）

山田コンサルティンググループ株式会社

- 山田コンサルティンググループ全体組織…………… 2

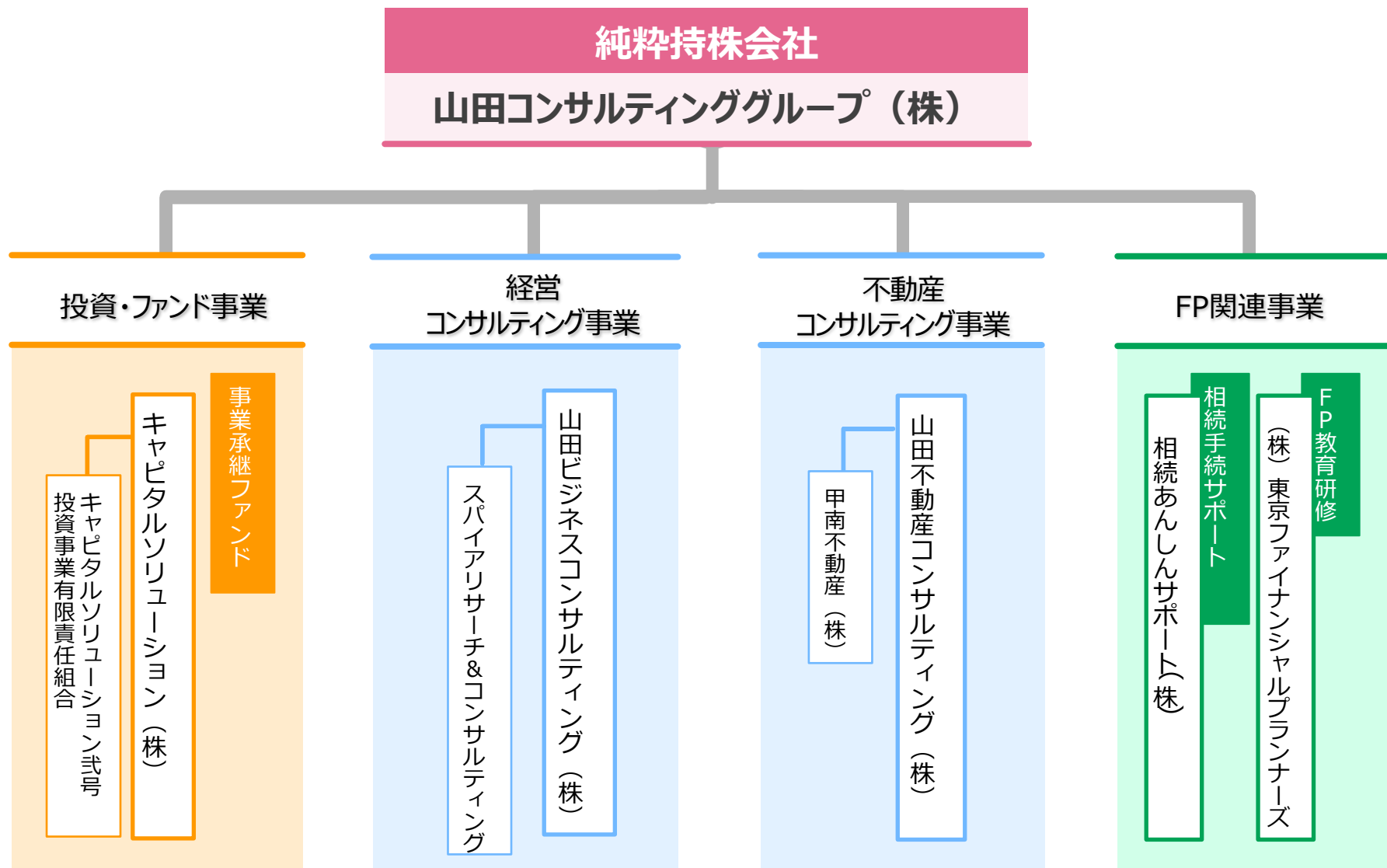
2018年3月期第2四半期決算概要及び通期連結業績予想

- (1)第2四半期連結損益計算書概要…………… 4
- (2)第2四半期決算のポイント…………… 5
- (3)連結業績推移…………… 6
- (4)第2四半期連結貸借対照表概要…………… 7
- (5)2018年3月期通期連結業績予想…………… 8

セグメント別2018年3月期第2四半期決算概要及び通期業績予想

- (1)セグメント別損益状況…………… 10
- (2-1)経営コンサルティング事業…………… 11
- (2-2)不動産コンサルティング事業…………… 13
- (2-3)FP関連事業…………… 15
- (2-4)投資・ファンド事業…………… 17
- (3)今後の事業成長イメージ(将来の目指すところ)…………… 19
- (4)リスク情報…………… 20

山田コンサルティンググループ全体組織



(注) 2017年7月1日付で、山田 F A S (株)は山田ビジネスコンサルティング(株)に吸収合併
これに伴い、2018年3月期より「資本・株式・株主に関するコンサルティング事業」は「経営コンサルティング事業」に統合

2018年3月期第2四半期決算概要 及び通期連結業績予想

(1) 第2四半期連結損益計算書概要

単位：百万円

	前第2四半期 連結累計実績	当第2四半期 連結累計実績	増減額	増減率	通期連結 業績予想	進捗率	前期通期 連結実績
売上高	5,106	5,975	+869	+17.0%	12,000	49.7%	10,794
売上原価	617	891	+273	+44.3%	—	—	1,322
売上総利益	4,489	5,084	+595	+13.2%	11,000	46.2%	9,472
販管費	3,449	3,828	+379	+11.0%	—	—	7,217
営業利益	1,040	1,255	+215	+20.7%	2,900	43.3%	2,255
経常利益	822	1,265	+443	+53.9%	2,910	43.4%	2,304
税引前四半期 (当期)純利益	813	1,265	+451	+55.4%	—	—	2,294
親会社に帰属する 四半期(当期)純利益	535	793	+258	+48.1%	1,850	42.9%	1,514

(2) 第2四半期決算のポイント

総括

経営コンサルティング事業が順調、全体で増収増益

経営コンサルティング事業

第1四半期に大型M&Aコンサルティング案件を売上実現できたこと、各コンサルティング案件の受注が順調だったことから、増収増益

不動産コンサルティング事業

受注件数が前年同期比減、小型案件の売上計上が多く、減収減益

FP関連事業

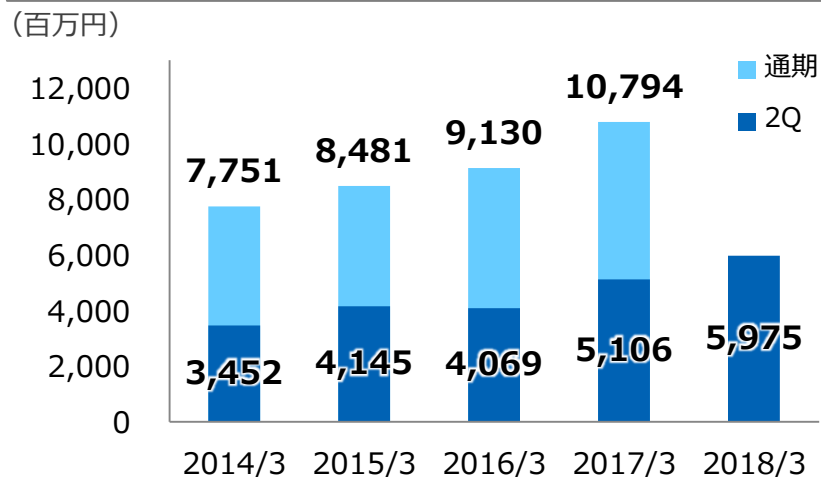
FP資格取得講座・実務研修の受注が順調、確定拠出年金関連研修の実施回数が増加したことから、増収増益

投資・ファンド事業

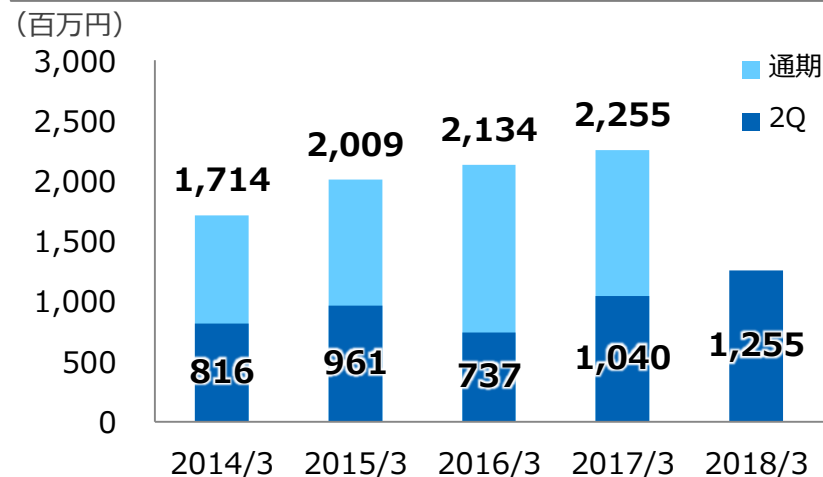
投資回収案件がなく、減収減益

(3) 連結業績推移

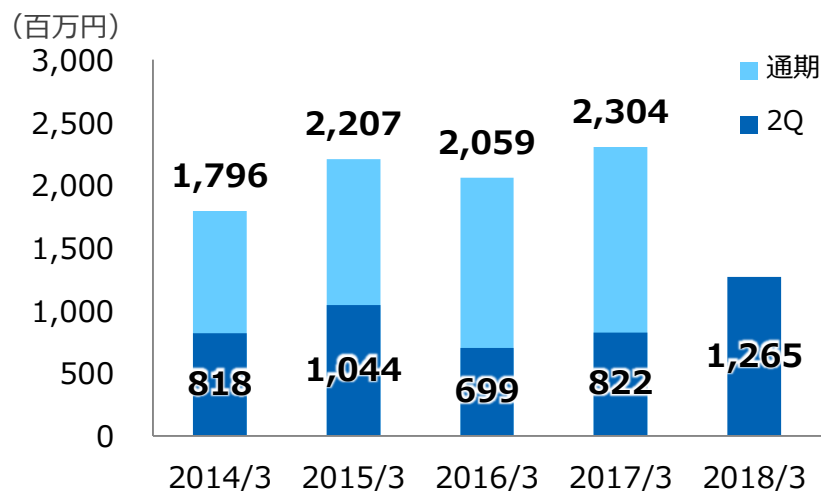
売上高



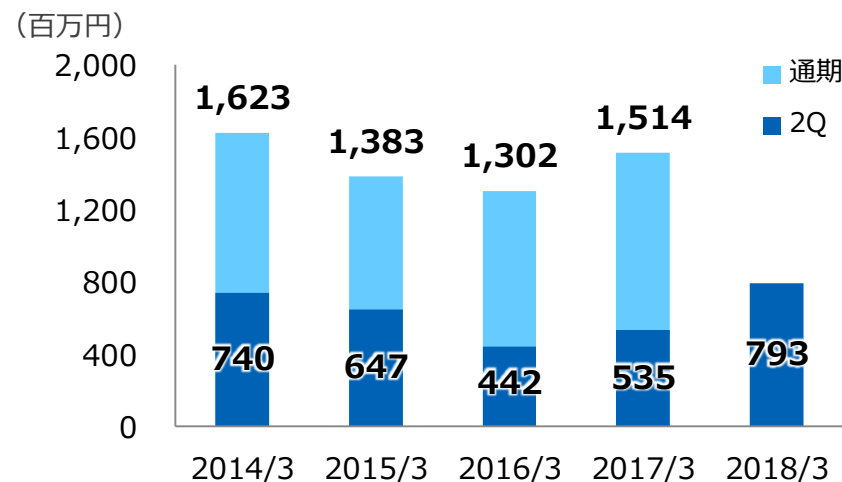
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



(4) 第2四半期連結貸借対照表概要

単位：百万円

(百万円)		2017年 3月期末	2018年 3月期 第2四半期末	増減額
資産の部	流動資産	9,323	9,047	△276
	固定資産	2,399	2,508	108
	有形固定資産	474	477	2
	無形固定資産	468	474	6
	投資その他資産	1,456	1,555	99
資産合計		11,723	11,556	△167
負債の部	流動負債	2,036	1,368	△668
	固定負債	53	64	11
	負債合計	2,089	1,432	△657
純資産の部	資本金	1,599	1,599	-
	資本剰余金及び利益剰余金	8,544	9,005	460
	自己株式	△532	△531	1
	株主資本合計	9,612	10,074	461
	その他の包括利益累計額	△26	△9	17
	新株予約権	1	4	2
	非支配株主持分	46	54	8
純資産合計	9,633	10,123	490	
負債純資産合計		11,723	11,556	△167

(5) 2018年3月期通期連結業績予想

単位：百万円

	2018年3月期第2四半期 連結累計実績	2018年3月期通期 連結業績予想	進捗率 (%)
売上高	5,975	12,000	49.7
売上総利益	5,084	11,000	46.2
営業利益	1,255	2,900	43.3
経常利益	1,265	2,910	43.4
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	793	1,850	42.9

	第2四半期末（確定）	期末配当予想	年間合計
1株当たり配当額	75.00円	18.75円 (75.00円)	(150.00円)

(注) 2017年10月1日付で1：4の株式分割実施
 期末配当予想及び年間合計の()内の金額は、当該株式分割考慮前の金額

- ◆ 現時点において、当社グループの事業状況・見込に大きな変動はなく、2017年5月9日に公表した通期連結業績予想数値に変更なし

セグメント別
2018年3月期第2四半期決算概要
及び通期業績予想

(1) セグメント別損益状況

売上高 (百万円)	前第2四半期 累計実績	当第2四半期 累計実績	増減額	増減率	通期業績予 想 (計画)	進捗率	前期 通期実績
経営コンサルティング事業	4,314	5,189	+875	+20.2%	10,300	50.3%	9,195
不動産コンサルティング事業	367	325	△41	△11.3%	1,000	32.5%	806
FP関連事業	319	469	+149	+46.8%	730	64.3%	667
投資・ファンド事業	123	7	△115	△93.8%	-	-	181
セグメント間取引消去	△17	△16	+0	-	△30	-	△55
合 計	5,106	5,975	+869	+17.0%	12,000	49.7%	10,794

売上総利益 (百万円)	前第2四半期 累計実績	当第2四半期 累計実績	増減額	増減率	通期業績予 想 (計画)	進捗率	前期 通期実績
経営コンサルティング事業	3,936	4,560	+623	+15.8%	9,836	46.3%	8,396
不動産コンサルティング事業	287	218	△68	△23.8%	685	31.9%	606
FP関連事業	192	302	+110	+57.2%	479	63.1%	408
投資・ファンド事業	78	7	△70	△90.3%	-	-	80
セグメント間取引消去	△5	△4	+0	-	-	-	△19
合 計	4,489	5,084	+595	+13.2%	11,000	46.2%	9,472

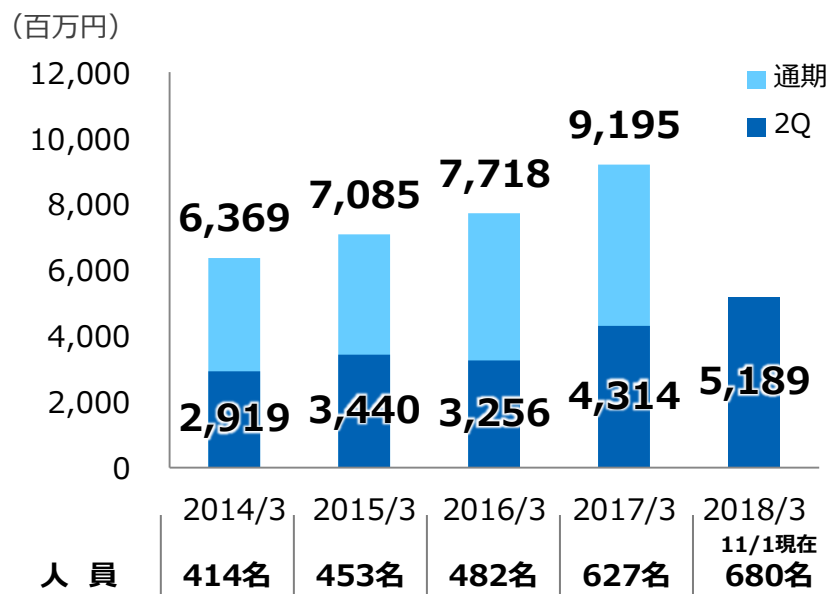
営業利益 (百万円)	前第2四半期 累計実績	当第2四半期 累計実績	増減額	増減率	通期業績予 想 (計画)	進捗率	前期 通期実績
経営コンサルティング事業	828	1,082	+254	+30.6%	2,540	42.6%	1,868
不動産コンサルティング事業	124	44	△80	△64.6%	305	14.4%	272
FP関連事業	8	122	+114	+1,410.7%	55	221.9%	37
投資・ファンド事業	77	6	△71	△92.0%	-	-	74
セグメント間取引消去	0	0	-	-	-	-	1
合 計	1,040	1,255	+215	+20.7%	2,900	43.3%	2,255

(2-1) 経営コンサルティング事業

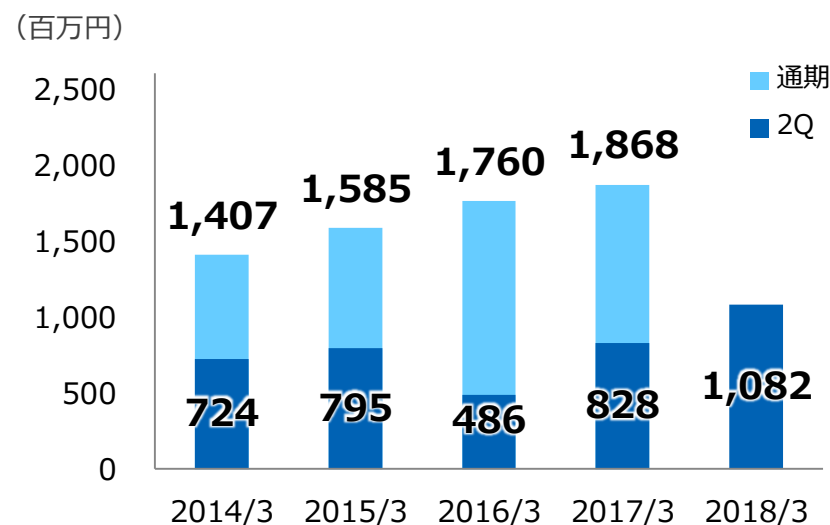
単位：百万円

	前第2四半期 累計実績	当第2四半期 累計実績	増減額	増減率	通期業績予想 (計画)	進捗率	前期通期実績
売上高	4,314	5,189	+875	+20.2%	10,300	50.3%	9,195
売上総利益	3,936	4,560	+623	+15.8%	9,836	46.3%	8,396
営業利益	828	1,082	+254	+30.6%	2,540	42.6%	1,868

売上高



営業利益



(2-1) 経営コンサルティング事業

<当第2四半期累計実績の状況>

- ◆ 第1四半期に大型M&Aコンサルティング案件を売上実現できたこと、及び各コンサルティング案件の受注が順調だったことから増収増益
- ◆ M&A関連売上高は1,321百万円（39件）
※前年同期のM&A関連売上高：991百万円（27件）、前年通期の同売上高：2,554百万円（64件）

通期業績予想及び重点施策

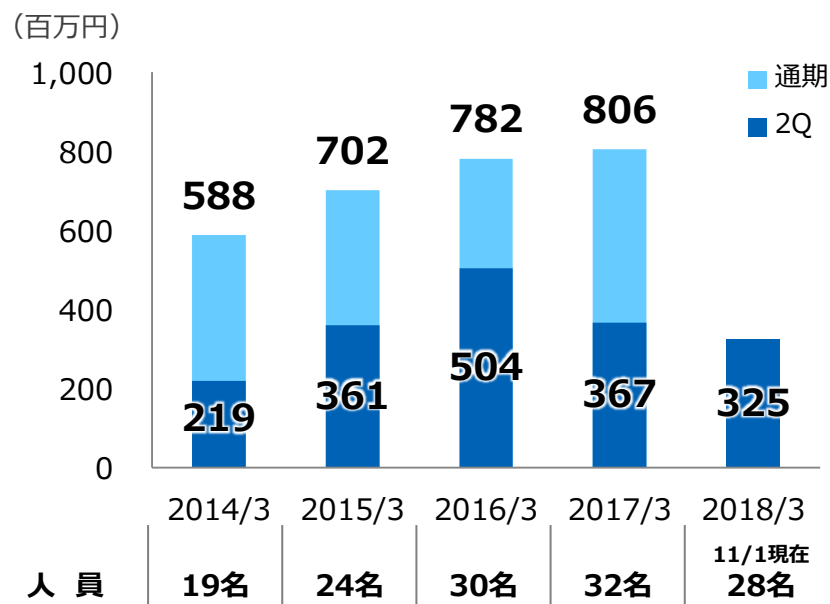
- M&A・事業承継・事業成長の各コンサルティングの受注状況が順調、通期は業績予想通りの業績確保を見込む
- 総合コンサルティングファームとして進化⇒既存商品強化・新商品開発、大企業・優良企業への提案力強化
- 特徴あるM&A・事業承継コンサルティング事業を拡大展開
親族内承継、役員・従業員への承継（MBO）、第三者承継（M&A）のいずれも対応できる点に特徴
⇒案件対応能力を更に強化
⇒メガバンク・地域金融機関と人材交流を深める等、金融機関との更なる連携強化により案件発掘基盤を拡大
- 海外コンサルティングの基盤構築・事業化
⇒海外子会社及び業務提携先の機能・ネットワークを最大限活用することにより、早期での基盤の構築を図る
- 「労働力不足」「働き方改革」に向けた総合的なコンサルティングの展開
⇒業務プロセス再構築を中核にしつつ、事業戦略提言や組織人事戦略再構築も含めた組織変革コンサルティングの展開を本格化
⇒IT領域へのサービス拡充を行いつつ、中堅中小企業のみならず、大手企業・地域中核企業へのアプローチを強化

(2-2) 不動産コンサルティング事業

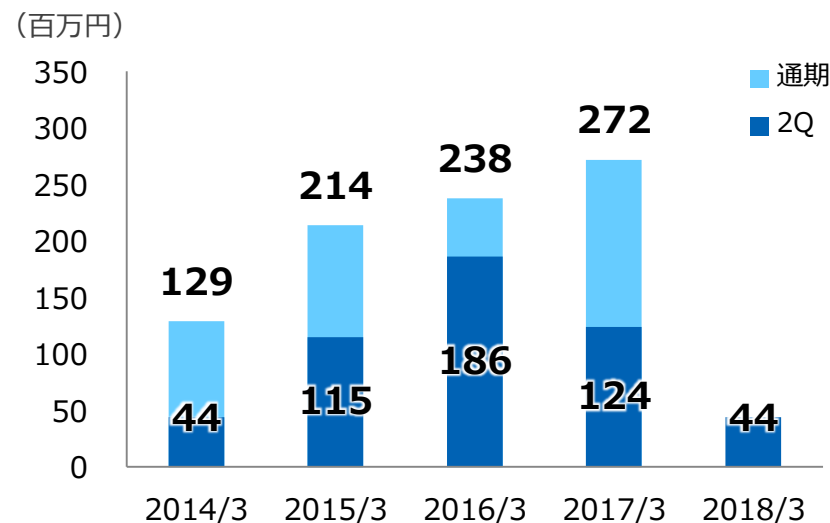
単位：百万円

	前第2四半期 累計実績	当第2四半期 累計実績	増減額	増減率	通期業績予想 (計画)	進捗率	前期通期実績
売上高	367	325	△41	△11.3%	1,000	32.5%	806
売上総利益	287	218	△68	△23.8%	685	31.9%	606
営業利益	124	44	△80	△64.6%	305	14.4%	272

売上高



営業利益



<当第2四半期累計実績の状況>

- ◆ 提携会計事務所からの案件相談件数・受注件数が前年同期比で減少したこと、小型案件の売上計上が多かったこと、人件費等のコスト増があったことから減収減益、通期業績予想に対する進捗率も低いものとどまる
- ◆ 2017年9月末の提携会計事務所数：396会計事務所

通期業績予想及び重点施策

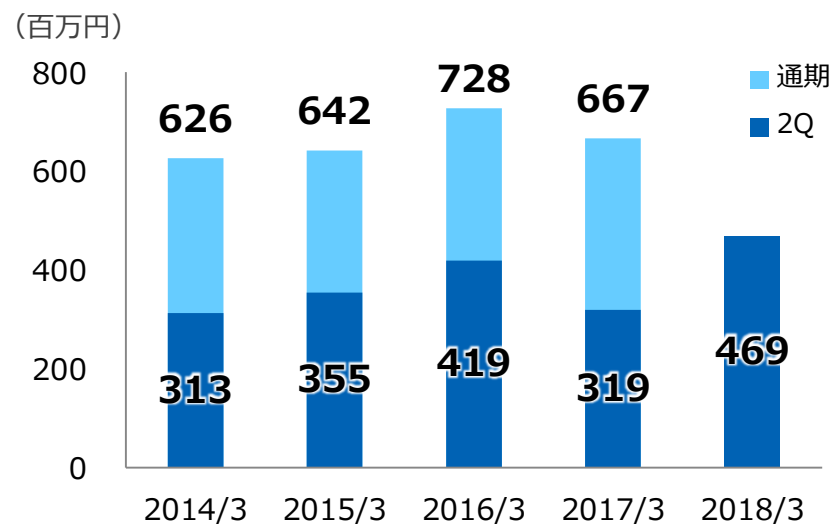
- 親密な提携会計事務所にターゲットを絞って営業活動を行い、案件受注に注力
- 既相談案件について着実に受注すべく案件対応
- 経営コンサルティング事業と連携して、M&A・事業承継コンサルティングのお客様に対し、総合的な不動産コンサルティングの提案を積極的に行うことにより大型案件の受注に注力
以上より、通期業績予想数値の達成を目指す
- 不動産に関する総合的な提案ができる「不動産コンサルティング会社」とすべく提案型のビジネスモデルへの転換
⇒大型案件の発掘・受注ができる体制構築（富裕層の囲い込み）

(2-3) FP関連事業

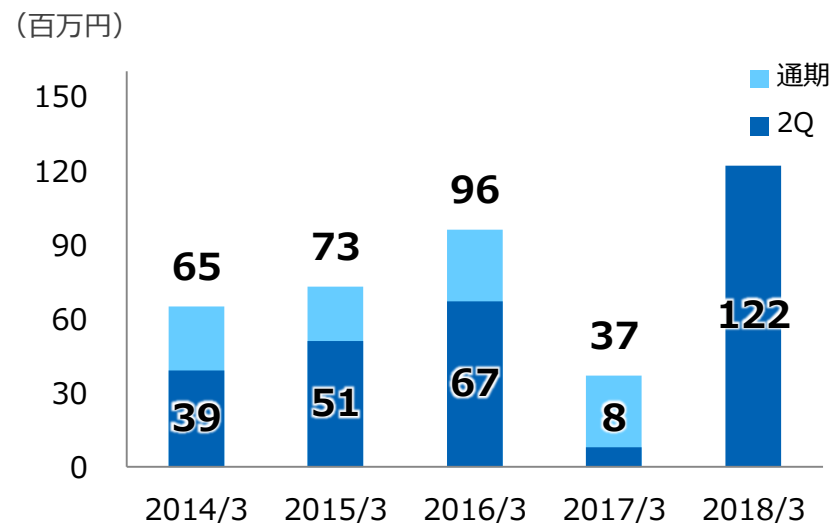
単位：百万円

	前第2四半期 累計実績	当第2四半期 累計実績	増減額	増減率	通期業績予想 (計画)	進捗率	前期通期実績
売上高	319	469	+149	+46.8%	730	64.3%	667
売上総利益	192	302	+110	+57.2%	479	63.1%	408
営業利益	8	122	+114	+1,410.7%	55	221.9%	37

売上高



営業利益



人員

33名

36名

40名

41名

11/1
44名

<当第2四半期累計実績の状況>

- ◆ 主要顧客である金融機関の社員教育ニーズの高まりから、FP資格取得講座・実務研修の受注が順調だったこと、及び確定拠出年金導入企業に対する研修の実施回数が前年同期比増加したこと等から、増収増益

通期業績予想及び重点施策

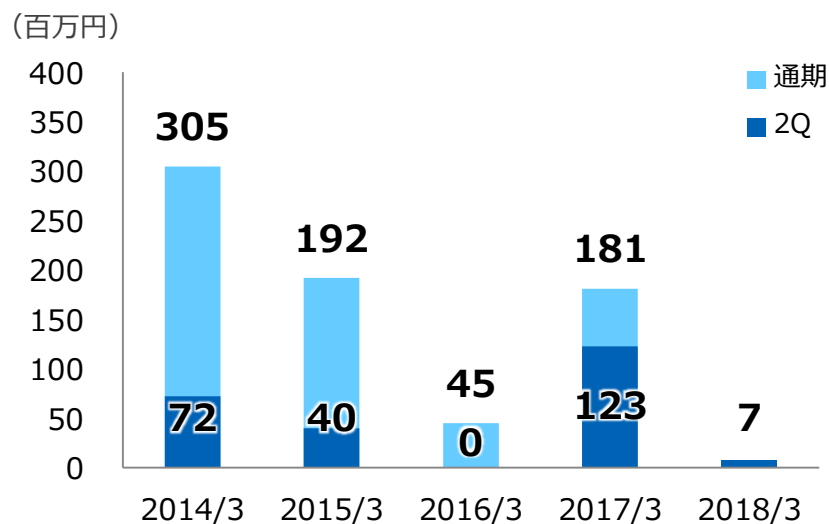
- 下半期も金融機関の社員教育ニーズは高い状況
引き続きFP資格取得講座・FP関連の実践実務研修に加えて、ヒューマンスキル・営業スキル研修等を総合的に組み合わせた人材育成に関する教育プログラムを積極的に提案
- 企業の「働き方改革」への取り組みによりWEB研修ニーズが高まっていることから、効率的・効果的なWEB研修プログラムの開発・提案を積極的に行うことにより、通期では更なる業績向上を目指す
- 「人材育成のソリューションを提案できるコンサルティング会社」とすべく事業基盤の再構築を実施中

(2-4) 投資・ファンド事業

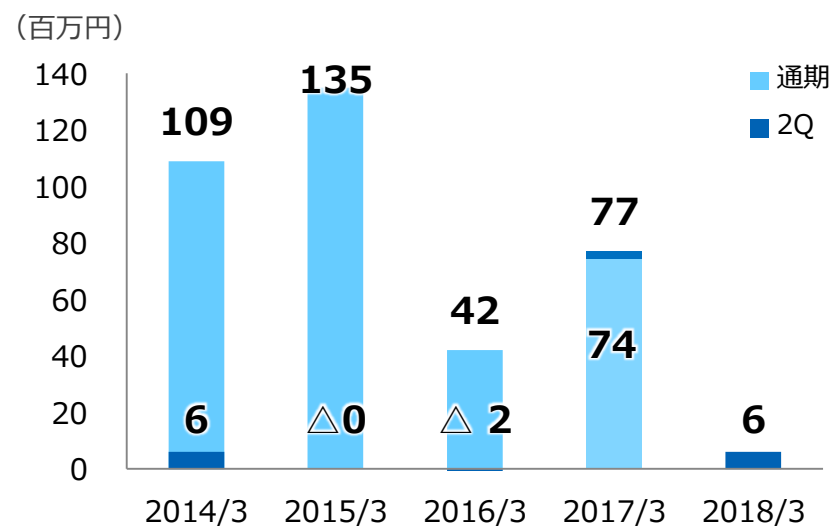
単位：百万円

	前第2四半期 累計実績	当第2四半期 累計実績	増減額	増減率	通期業績予想 (計画)	進捗率	前期通期実績
売上高	123	7	△115	△93.8%	-	-	181
売上総利益	78	7	△70	△90.3%	-	-	80
営業利益	77	6	△71	△92.0%	-	-	74

売上高



営業利益



＜当第2四半期累計実績の状況＞

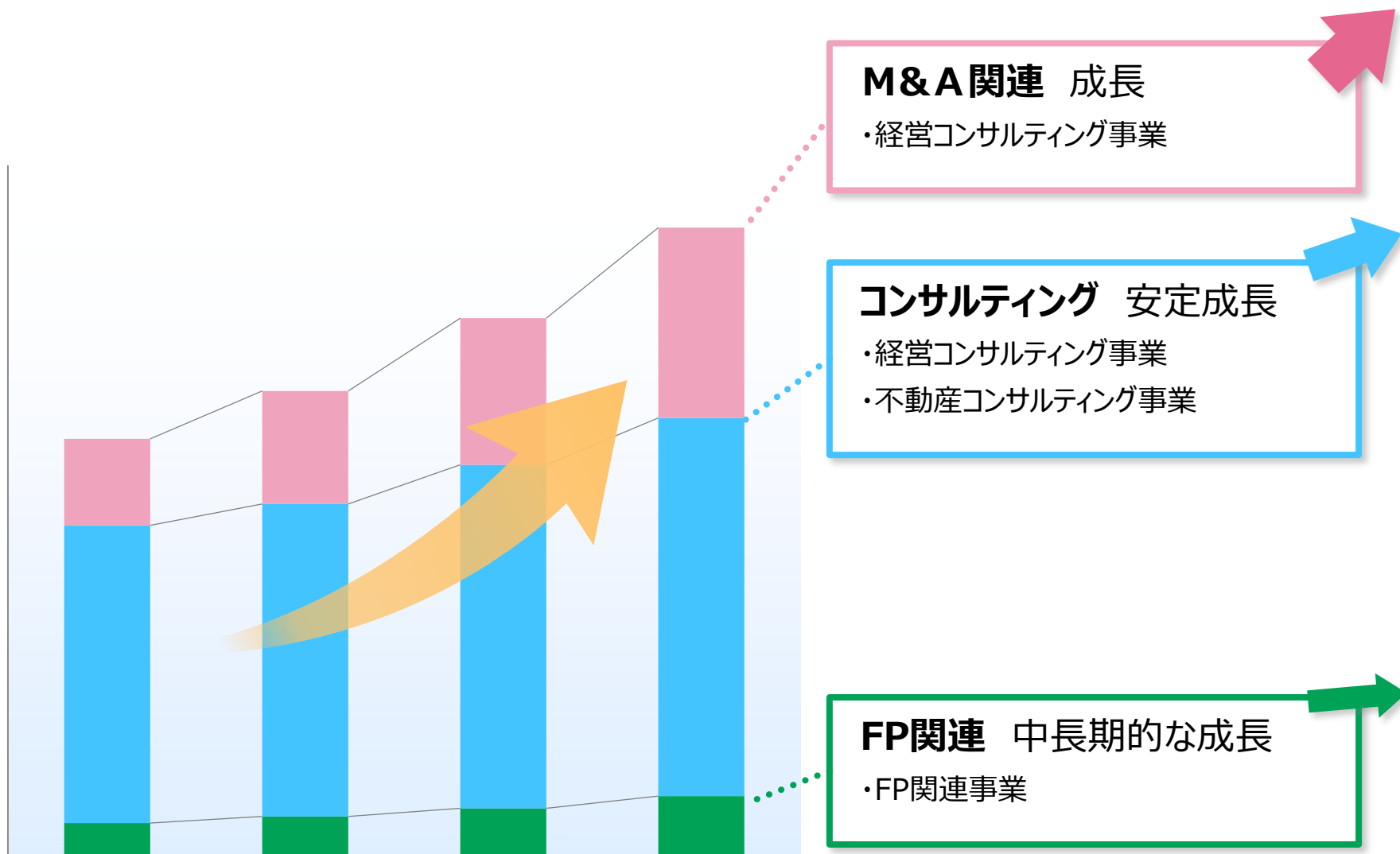
- ◆ 投資回収案件がなかったことから、減収減益
- ◆ 投資実行額229百万円（3件）
新規投資額193百万円（1件）、既投資先への追加投資額36百万円（2件）

通期業績予想及び重点施策

- 現在、事業承継ファンドのキャピタルソリューション式号ファンド（総額10億円）のみ運営
2017年9月末投資残高483百万円（3件）
- 同式号ファンドは、現時点において下半期での投資株式の売却予定なし
- 引き続き慎重に投資検討

(3) 今後の事業成長イメージ (将来の目指すところ)

成長性



(4) リスク情報

経営コンサルティング事業

- 人材の確保及び育成
- 情報管理⇒機密情報が漏洩した時のリスク

不動産コンサルティング事業

- 人材の確保及び育成
- 不動産市況の動向

FP関連事業

- FP関連事業の商品構成・・・FP資格取得講座販売・FP関連研修の売上の依存度が高い
- 主要顧客である金融機関の業績動向

投資・ファンド事業

- 投資先企業の業績状況、株式評価、売却タイミングによる業績変動リスク

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知置き下さい。